

令和4年度犬山市青少年センター連絡会議 会議録

- 1 附属機関の名称 犬山市青少年センター運営協議会
- 2 開催日時 令和4年7月6日(水)午後2時00分から3時00分まで
- 3 開催場所 犬山市南部公民館 講堂
- 4 出席した者の名前
 - (1) 委員：佐々由高、松本里美、畑竜介、長嶋貴栄、小竹摩記、田島奈生美、深見公子、内藤慎二、南谷亜紀 (9名/11名)
 - (2) 執行機関 滝誠教育長、中村浩三教育部長、文化スポーツ課 坂野隆幸課長、星野弘之課長補佐、青少年センター梅村淳所長、同所角村利恵相談員
 - (3) 関係者 犬山市青少年健全育成推進員(市内小中高等学校生徒指導主事及び担当者7名、市内小中学校PTA会長11名、保護区保護司会9名、民生主任児童委員8名計35名/58名)
- 5 内容
 - (1) 主催者挨拶 犬山市教育委員会 滝 誠 教育長

日ごろからの関係者の青少年健全育成に係る尽力に感謝する。本日委嘱する犬山市青少年健全育成推進員の皆様には、各地域において子どもたちの見守りを願います。

コロナによる行動制限活動制限が少し緩和されつつあるが、予断を許さない状況である。マスクの着脱についても時と場合に応じて外してよいという見解が示された。マスク生活が当たり前のようになってしまった状況の中で、相手の表情が読み取りづらく人間関係を築くのが難しくなっている。学校では、登下校や体育時にマスクを外すのを原則とし、付きたい子は付けても良いという指導をしているが、周りが外していないから外しづらいというのが現状。

乳児は肌を離すな。幼児は肌を離しても手を離すな。少年は手を放しても目を離すな。青年は目を離しても心を離すなと言われている。

子どもや若者たちが夢と希望をもって、明るい未来に向かってたくましく生きて行けるようお願いする。
 - (2) 犬山市青少年健全育成推進員の委嘱の伝達

市内小中高等学校生徒指導主事及び担当者、市内小中学校PTA会長、保護区保護司会、民生主任児童委員58名に対して犬山市青少年健全育成推進員の委嘱をした。委嘱状は代表して主任児童委員の長嶋貴栄氏が受け取った。
 - (3) 青少年センターの概要と活動及び犬山市青少年健全育成推進員の目的と役割について

事務局より青少年センターの概要と活動について、及び犬山市青少年健全育成推進員の目的と役割について映像をもとに説明した。

 - ①青少年センターの概要と活動
 - ・相談事業 ・街頭指導 ・有害環境の浄化
 - ・青少年健全育成に係わる協議会などの事務局 ・青少年健全育成に係わる支援
 - ②犬山市青少年健全育成推進員の目的と役割
 - ・有害環境の発見 ・街頭での声掛け ・青少年の問題行動の早期発見、早期指導
- (4) 研修会

社会福祉法人 「溢愛館の役割」
溢愛館施設長 金井牧仁氏

児童養護施設について、溢愛館の成り立ちと施設概要、児童養護施設の職員に大切なことについて映像をもとに研修した。

- ・児童養護施設の具体的な内容と定員
- ・溢愛館の定員の変遷
- ・溢愛館の施設(本館、児童寮、希望の家、ウォーレス、ひばりホーム、グレイスホーム)の紹介 など

研修後に質疑を行った。

令和4年7月 日

上記に間違いがないことを確認する。

署名
